令和3年度　川崎市立川崎高等学校定時制学校評価

04.2.05

学校教育目標

「こころ豊かな人になろう」
○自分のよさを伸ばし、将来の夢を見つめて、自分探しに取り組もう
○自ら知識を求め、直面する課題を大切にし、新たな課題に取り組もう
○他を認め、思いやる心をつちかい、人類共通の課題に取り組もう

学校経営の目標

1．学習指導・生活指導・進路指導・キャリア教育の一体化による生徒それぞれの自己実現を促す。
2．安全・快適な教育環境の整備
3．適性かつ効率的な学校事務の遂行
4．教職員の資質・能力向上と学校組織の活性化

評価項目		目標と方策	具体的な取組	具体的実践内容	評価項目	生徒アンケート	令和3年	令和2年	令和1年	平成30年	平成29年	保護者アンケート	令和3年	令和2年	令和1年	平成30年	平成29年	評価項目	教員アンケート	令和3年	令和2年	令和1年	平成30年	平成29年
						Q：自分自身の取り組みや学校の雰囲気について答えてください。	A、Bの評価合計（割合）					Q：お子さまの様子や公開授業や保護者面談等でお感じになられたことからお答えください。	A、Bの評価合計（割合）						Q：各自の指導体制を振り返って答えてください。	A、Bの評価合計（割合）				
1	学習指導	○学習習慣の確立と基礎・基本の徹底、主体的な学びを促す学習指導を展開する。 ・生徒の良さを伸ばし、潜在的な能力・可能性を積極的に引き出すための授業改善に取り組む。 ・「生徒に適切な学習目標を設定させる授業」「ICT等を活用したわかりやすい授業」「思考力・表現力を高める授業」「課題の発見・解決に向けた主体的・共同的な学び」を実践する。 ・学び方や学習方法の指導などで学習ガイダンスを徹底し、自学自習の習慣を身に付けることを通して、進路目標の達成、自己実現を支援する。 ・生徒一人ひとりの進路目標（自己実現）の達成に向け、基礎・基本の定着と進路目標到達への課題に対応する力を育成するよう、個々の実態と教育的ニーズに応じたきめ細かな学習指導、学習支援を行う。	○生徒一人一人の進路目標（自己実現）の達成に向けて基礎・基本の定着と進路目標到達への課題に対応できる力を育成する。 ○基礎・基本の徹底のもとに、個々の実態とニーズに応じたきめ細やかな学習指導、学習支援を行う。	・学び直し ・少人数制指導 ・授業改善 ・日常の授業 ・補習 ・個別指導 ・進路実現	・わかりやすい授業 ・授業への取組み ・基礎学力向上 ・進路実現	1	先生達は、丁寧にわかりやすい授業の工夫を行なっている。	95%	93%	90%	84%	85%	1	学校は、丁寧にわかりやすい授業の工夫を行なっている。	93%	87%	75%	82%	73%	・わかる授業 ・授業研究 ・指導と評価 ・きめ細かな学習支援 ・生徒の自主性の補助 ・生徒との協調	1	生徒にわかりやすい授業づくりを工夫した。	100%	100%	95%	96%	95%
						2	学校の授業は、進む速さが自分に合っている。	82%	80%	82%	78%	72%	2	意欲的に学習に取り組むようになってきた。	90%	76%	61%	75%	66%		2	生徒の興味・関心を引き出す授業づくりに取り組んだ。	100%	94%	91%	95%	91%
						3	先生達は、わからないことを質問した時にきちんと答えてくれる。	97%	91%	93%	90%	88%	3	基礎学力が身に付いてきていると感じる。	93%	78%	72%	73%	64%		3	生徒の質問にはわかりやすく丁寧に答えた。	100%	100%	100%	96%	95%
						4	意欲的に学習に取り組めるようになってきた。	85%	83%	81%	75%	72%									4	生徒の意欲を引き出すよう心がけた。	100%	94%	100%	96%	95%
						5	基礎学力が身に付いてきている。	81%	90%	74%	70%	78%														
						6	臨時休業中の課題に意欲的に取り組むことができた。		63%												5	基礎学力の充実に努めた。	100%	94%	100%	95%	90%
						7	授業では、ICTが理解に役立つように使われている。（PCやGoogle Clasroomなど）	79%	76%																	
2	生活指導	○特別活動の活性化、望ましい集団活動を通して、学校生活の充実・向上を図る指導を展開する ・人権尊重の精神を培うとともに、人間的な心の触れ合いや感動体験活動等を通じ、学ぶ者同士の連帯意識や所属意識を醸成する ・日常的な指導や学校行事・ロングホームルーム・部活動等を通じ、生徒が適切な規範意識を持ち基本的な生活習慣・学習習慣を確立できるようにするとともに、幅広い社会性や友愛の精神と豊かな人間性を養う。 ○基本的な生活習慣、自立的規範意識、心身の健康の保持による生活規律の確立を図る ・授業規律やマナーの徹底、心身の健康管理等を通して、学力の基礎となる健全な生活習慣の確立を図る。	・基本的な生活習慣、自律的規範意識、心身の健康の保持による生活規律の確立を図る。	・登下校の校門指導 ・保護者との連絡 ・日常的な生活指導	・健康管理 ・生徒指導 （学校生活全般 遅刻、欠席、早退指導）	8	学校は、規律や集団生活のマナーなどについて指導している。	91%	85%	82%	81%	76%	4	子どもは、学校の校則や集団生活のマナーを守ることができている。	91%	83%	75%	78%	73%	・健康管理 ・生徒指導 （学校生活全般 遅刻、欠席、早退指導） ・生徒会行事 （文化祭） （体育祭） ・学校行事 ・生徒とのコミュニケーション ・特別活動への参加促し ・生徒会行事	6	集団生活の大切さについて意識を促した。	100%	94%	91%	95%	90%
						9	学校は、基本的生活習慣（欠席・遅刻・早退の減少など）を目指した指導をしている。	84%	83%	82%	80%	73%	5	子どもは、学校生活で時間を守ること（遅刻・欠席・早退をしないなど）ができている。	75%	60%	53%	57%	53%		7	規律や集団生活のマナーについて十分に指導した。	100%	94%	91%	92%	100%
						10	校則や集団生活のマナーを心がけている。	94%	88%	87%	83%	81%	6	子どもは、学校の先生達に理解されていると感じる。	97%	87%	82%	86%	85%		8	時間を守り、欠席・遅刻・早退をなくすための指導をした。	95%	88%	86%	90%	95%
						11	学校生活で時間を守る（遅刻・欠席・早退をしない）ように心がけている。	95%	84%	87%	76%	80%									9	生徒指導について教員相互で共通理解に努めた。	100%	100%	91%	95%	90%
																					10	生徒を理解している。	100%	88%	96%	94%	95%
					・学業と就労							7	子どもは、学校と仕事の両立が出来ている。**【就業者（アルバイト等を含む）のみ回答】**	**74%**	**57%**	**58%**	**66%**	51%		11	生徒へ積極的に挨拶や声かけをしてコミュニケーションを図った。	100%	100%	95%	96%	90%
				・生徒相談、ｿｰｼｬﾙｶﾝｾﾗｰ ・日常的な生徒との会話	・精神面での支援	12	先生達（学校）に理解されている。	92%	89%	75%	75%	70%	8	悩みなどを先生達に相談できる。	86%	78%	62%	71%	68%		12	生徒の悩みや相談に乗ったり、話しを聞く心がけた。	100%	94%	91%	90%	95%
						13	学習と仕事の両立が出来ている。【就業者（アルバイト等を含む）のみ回答】	74%	68%	66%	67%	56%														
						14	先生達は、あなたの抱えている悩みについて相談に乗ってくれる。	94%	88%	79%	81%	79%														
						15	先生達に心配事や悩み事を相談できる。	82%	81%	72%	71%	69%									13	生徒と多くの場面で関わろうと心がけた。	95%	100%	87%	90%	76%
			・特別活動の活性化、望ましい集団活動を通して、学校生活の充実・向上を図る指導を展開する。	・生徒会活動 ・各実行委員会 ・保健講演会 ・薬物講演会	・生徒会行事 （文化祭） （体育祭） ・学校行事	16	社会見学などの校外行事に参加して良かった（充実していた）。	85%	79%	76%	78%	78%	9	子どもは、社会見学、各種講演会などに満足している。	86%	71%	67%	69%	67%		14	特別活動への参加を積極的に促した。	90%	88%	82%	90%	90%
						17	体育祭に参加して楽しかった（充実していた）。	79%	79%	79%	77%	77%	10	体育祭などに参加して満足している。			72%	81%	73%							
						18	進んで行事に参加し行事を盛り上げるよう努力した。	74%	70%	69%	72%	72%	11	部活動の指導や検定の支援に満足している	77%	54%	51%	54%	54%		15	部活動や検定の支援を行なった。	79%	82%	82%	77%	95%
					・健康促進	19	保健講演会に参加して良かった（ためになった）。	82%	73%	74%	75%	70%														
3	進路指導・キャリア教育	○計画的・組織的な進路指導を推進し、生徒一人一人の実態とニーズに応じた指導を展開する。 ・進路ガイダンス、進路講演会、職業体験等の進路啓発行事を最適学年で計画・実施し、一層の内容充実を図り進路意識・職業意識を高める。 ・教育活動全体を通じて自己の生き方を探求するなど、人間としての在り方生き方に関する教育を充実させ、高い志や夢を育む用感とともに高い志や夢を育むキャリア教育を推進する。	・計画的・組織的な進路指導を推進し、生徒一人一人の実態とニーズに応じたきめ細かな指導を展開する。 ・教育活動全体を通じて自己の生き方を探求するなど、人間としての在り方生き方に関する教育を充実させ、高い志や夢を育むキャリア教育を推進する。	・計画的、組織的な進路指導の指針 ・年間計画 ・キャリア教育	・LHR、総合 ・キャリア教育プログラム ・就職支援	20	総合的な学習（講演、話し合い活動や校外学習等）に積極的に参加できた。	85%	78%	80%	77%	75%	12	子どもは、進路や将来について考えるようになった。	83%	72%	55%	68%	59%	・キャリア教育の充実 ・キャリアガイダンス部 ・就労支援	16	キャリア教育の充実に向けて、委員会や学年打合せで内容を深めた。	84%	76%	86%	72%	82%
						21	キャリア教育プログラム等に参加して、自分の将来を考えるようになった。	91%	77%	78%	76%	71%	13	進路について先生達に相談できる。	88%	71%	51%	61%	54%		17	キャリア教育の取り組みは、生徒の成長に効果を上げた。	90%	76%	91%	91%	86%
						22	進路について先生達に相談することができた。（しようと思っている）	80%	78%	71%	74%	69%									18	生徒に応じた進路指導を行なった。	100%	88%	86%	90%	85%
4	教育環境整備	○本校の特色・魅力を具現化する教育課程を編成・実施する。 ・学習指導要領に対応する教育課程や授業内容の工夫と改善に努める。 ○各教室や体育施設の円滑な運用に向けて、組織的・計画的な取組を進める。 ・定時制、全日制、附属中学校の教科の授業、学校行事、生徒会行事等について施設使用の調整し、活動内容の一層の充実を図る。 ○清掃活動や校内美化活動により、自ら学習環境を整える態度、社会性や公共心を育成する。	・本校の特色・魅力を具現化する教育課程を編成・実施する。	・学習指導要領の対応	・就労支援 ・キャリア教育 ・校内清掃	23	クラスの清掃や整頓に協力している。	75%	75%	76%	74%	64%								・各学年 ・学務部 ・総務部 ・生徒部 ・キャリアガイダンス部 ・運営委員会 ・教育課程委員会 ・入試選抜委員会 ・議事運営委員会 ・職員研修の充実 ・保護者との連携 ・地域との連携	19	職場の整理整頓に心がけた。	90%	100%	81%	90%	71%
			組織的・計画的に対応し、教育環境の維持・整備を図る。	学校行事、生徒会行事等の充実																20	昼間部開設に伴う課題について共有し、課題解決を図った。	74%	94%	78%	76%	85%
																				21	各分掌の課題について共有し、課題解決を図った。	74%	100%	78%	95%	90%
			・清掃活動や校内美化運動により、自ら学習環境を整える態度、社会性や公共心を育成する。																	22	各委員会の課題について共有し、課題解決を図った。	74%	82%	80%	90%	95%
5	学校事務	○公金の適正な管理と計画的・効率的な予算執行を行う。 ・学校全体を見据え、管理職、教職員等との連携・協調と情報の共有化を図りながら、学校財務の効率的な運用を図り、教育効果の向上および適正な教育条件の整備に努める。 ○校舎及び体育施設における備品等の適正管理を行う。 ○教職員の福利厚生等に関する事務の適正処理を行う。	・公金の適切な管理と計画的・効率的な予算執行を行う。																		23	職員研修は、内容や人選が適当であった。	90%	88%	82%	86%	81%
			・改築工事期間における備品、不要物品等の適性管理を行う。																					
6	学校組織	○公開授業や研修会などを通して、指導力を高める授業改善の取組を推進する。 ・各教科等において、生徒の思考力・判断力・表現力等を育むために有効な手立てとなる、言語活動の充実を図る取組を進める。 ・各教科・科目の特性に応じた適切な学習形態のあり方を研究、実践するとともに、生徒の実態や思いを的確に捉え、さらなる指導方法の工夫改善につなげる。 ○校務分掌上の業務のノウハウ確立や伝達・継承の円滑化を図る取組を進める。 ○校内コミュニケーションを通した相互協力や連携に基づく協働体制の確立を図る。 ・全職員が一致協力して計画的で継続的な教育活動を展開し、円滑な校務運営にあたる。 ・生徒、保護者、地域から信頼される学校となるよう、教職員の資質向上を図り、生徒が生き生きと学べる教育を推進する。また、学校情報を積極的に発信する開かれた学校づくりを推進する。 ・教育公務員としてその職責の重さを自覚し、言動が生徒の範となるように、不断の自己研鑽及び研修に努め、学校全体の教育力を高める。	・公開授業や研修会などを通して、指導力を高める授業改善の取組を推進する。	・言語活動の充実 ・授業改善	・コミュニケーション ・保護者との連携 ・地域との連携	24	学校内で先生達や友人にあいさつができている。	91%	86%	80%	82%	79%	14	先生達や友人とコミュニケーションをはかっている。	94%	82%	69%	86%	76%							
			・校務分掌上の業務のノウハウ確立や伝達・継承の円滑化を図る分掌組織や業務分担を検討する。			25	学校の予定をだいたい知っている。	84%	79%	77%	75%	71%	15	学校の予定をだいたい知っている。	84%	77%	64%	75%	64%							
			・校内コミュニケーションを通した相互協力や連携に基づく協働体制の確立を図る。	・計画的、継続的な教育活動 ・教職員の資質向上		26	学校からの配付物を保護者に必ず渡している。		71%	69%	71%	64%	16	学校からの配付物を受け取っている。	83%		68%	69%	64%		24	生徒へ積極的に挨拶や声かけに心がけた。	100%	100%	96%	95%	94%
			・学校情報を積極的に発信する開かれた学校づくりを推進する。	・保護者面談 ・保護者懇談会 ・配付物　等																25	学校の予定についてきちんと伝え、参加を促した。	95%	53%	96%	90%	95%
												16	臨時休業中に学校からの電話や配信メール等で必要な情報を確認できた。		84%										
													必要な情報を学校からの電話や配信メール等で確認できた。	90%						26	保護者や地域との連携に心がけた。	90%	88%	77%	95%	85%